

科 目 名

生涯学習概論

Outline of life-Long learning

2年 後期 1単位 選択

後 藤 忠 久

概要及び目標

現代社会は、科学技術の飛躍的な発達、社会の各分野で情報化、国際化の進展、高齢化・少子化等、時代の大きなうねりの中にある。

生涯学習という考え方は、活力と潤いのある幸福な社会を目指して乳幼児期から高齢期にいたるまでのライフステージを通じて学校、家庭、社会の各分野の教育機能の有機的統合を図る理念といえる。

これからの社会においては、個性的でいろいろな生き方が尊重され、人生の各時期における学習ニーズを踏まえた多様な学習機会が提供されるとともに、学習者が自らの能力・適正・意欲に応じて学ぶ喜びを味わいつつ学習しその成果が評価されるような、生涯学習社会の実現が求められている。

平成18年12月、教育基本法（平成18年法律第120号）が改正され、第3条に新しく「生涯学習の理念」が規定された。その趣旨は「生涯学習の理念が科学技術の進歩や社会構造の変化、高齢化の進展や自由時間の増大などに伴って重要になっている」と述べている。

本講義では、生涯学習社会を展望し、生涯学習の意義と果たす役割等について生涯学習の基本理念、教育機能の活性化、学習内容の充実、生涯学習基盤の整備、生涯学習の具体的実践事例等幅広い観点から理解する。

授業計画

- ① 教育基本法と生涯学習
- ② 生涯学習の基本理念、我が国の生涯学習の動向
- ③ 生涯学習と学校教育・社会教育・家庭教育
- ④ 生涯学習と学社融合
- ⑤ 生涯学習・社会教育の指導者
- ⑥ 生涯学習のまちづくりと社会教育施設
- ⑦ 生涯学習の動向と学芸員の果たす役割
- ⑧ 試験

授業方法

講義レジュメ・補足資料等を中心に、参加体験型学習など講義形式の授業を行う。

評価方法

出席状況、授業への積極的な参画、レポート、試験等で総合的に評価する。

参考文献・資料

- (1) 平成20年版「生涯学習・社会教育行政必携」生涯学習・社会教育行政研究会編集：第一法規
- (2) 「資料と図でみる生涯学習」福留 強／古市勝也 編著：日常出版
- (3) 「生涯学習ハンドブック」山本恒夫 編著：第一法規
- (4) 「家庭・学校・地域の連携・融合のすすめ」文部省
- (5) 「輝 KAGAYAKI」熊本県教育委員会
- (6) 「山鹿市教育基本計画—市民による教育創造」山鹿市教育委員会